

宮崎市中央公民館
個別施設計画

令和3年3月
教育委員会 生涯学習課

宮崎市中央公民館 個別施設計画

目次

第1章	計画の背景と目的	1
第2章	概要	
	(1) 対象施設の概要	1
	(2) 対象施設の経緯	1
	(3) 計画期間	1
	(4) 位置図	2
	(5) 施設写真	3
第3章	個別施設の状態等	
	(1) 対策の優先順位の考え方	4
	(2) 個別施設の状態	5
	(3) 施設の劣化状況写真	6
第4章	対策の内容等	
	(1) 対策の考え方	7
	(2) 対策の平準化について	7
	(3) 対策の内容等	7

第1章 計画の背景と目的

本市では、持続可能かつ最適な公共施設経営の実現を目指し、「総量の最適化」「質の向上」「投資の厳選」を経営方針とする「宮崎市公共施設等総合管理計画」を平成29年2月に策定したところです。今後は、この計画に基づき、個別施設ごとの具体の対応方針を定める計画として、「個別施設計画」を策定することとなっております。

「個別施設計画」については、各施設の特長や維持管理・更新等に係る取り組み状況等を踏まえつつ、長期的な視点をもって、長寿命化・建替え・複合化などを計画的に行い、最適な公共施設サービスを提供することにより、持続可能な行政運営の実現を図ることを目的に策定します。

第2章 概要

(1) 対象施設の概要

対象施設	宮崎市中央公民館		
所在地	宮崎市宮崎駅東1丁目2番地7		
竣工年度	昭和57年度	所管課	生涯学習課
敷地面積 (㎡)	759.17	延床面積 (㎡)	2013.31
主構造	鉄筋コンクリート造	階数	4階

(2) 対象施設の経緯

年度	建物	構造	床面積
昭和57年	中央公民館	鉄筋コンクリート造	1996.51㎡

- ・本施設は、市総合体育館と併設して建設され、研修室や音楽室、調理実習室等を備え、教養向上、生活文化振興等を図るために、市域全体の市民を対象として活用されています。
- ・当該施設については、直営で管理運営を行っています。

(3) 計画期間

本計画の計画期間は「宮崎市公共施設等総合管理計画」の計画期間に合わせて2021年度（令和3年度）から2027年度（令和9年度）までの7年間とします。

なお、社会情勢の変化や関連する計画の策定・改訂など、本計画に大きな影響を与える事象が発生した場合は、適宜見直しを行います。

(4) 位置図



(5) 施設写真

中央公民館全景



大研修室



音楽室



第3章 個別施設の状態等

(1) 対策の優先順位の考え方

当該施設の方針として、鉄筋コンクリート造であることから目標耐用年数を80年（日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」）とし、計画的な修繕により施設の長寿命化及びライフサイクルコストの削減を図ります。

中央公民館は、全市民を対象とした施設であり、すべての公立公民館等の模範となる「地域の拠点施設としての役割」を担い、一方では、「避難所」として活用されていることから、施設機能及び利用者の安全を確保するために直接的な人的被害につながる可能性がある箇所（屋根・外壁）について優先して対策を行います。施設運営に影響を及ぼす設備（空調・給湯・電気・機械）についても必要な範囲で予防保全改修を実施します。

また、改修については、市総合体育館との施設状況を踏まえて効率的な工事を実施するよう検討します。

【長寿命化方針】 目標耐用年数 80年

改修時期として、築年数40年・60年経過を目途に、施設状況を確認の上、大規模改修や長寿命化改修を検討します。

(2) 個別施設の状態

調査部位	種類・形式等	定期点検の判定項目	定期点検の判定結果
敷地及び 地盤	敷地	敷地内の排水状況	特に問題なし
	空地、通路等	空地、通路等の管理は適切か	特に問題なし
建築物の 外部	基礎	基礎の劣化及び損傷状況	特に問題なし
	躯体等	コンクリート造の外壁の躯体の劣化及び損傷状況	ひび割れ等が見られる
	外壁仕上材等	タイル、石貼り等、モルタル等の劣化及び損傷状況	特に問題なし
	窓サッシ等	サッシ等の劣化及び損傷	錆汁が見られる
屋上及び 屋根	屋上面	屋上面の劣化及び損傷状況	特に問題なし
	機器及び工作 物	本体及び接合部の劣化及び 損傷状況	発錆や損傷等が見られる
建築物の 内部	躯体等	コンクリート造の壁の室内 に面する部分の躯体の劣化 及び損傷状況	ひび割れ等が見られる
その他	階段	各部の劣化及び損傷状況	ひび割れ等が見られる
	非常用の照明 装置	非常用の照明装置の作動状 況	モニタランプ消灯
	排煙設備	排煙設備の作動状況	ハンドルが紐で固定され ている

(3) 施設の劣化状況写真



屋上の梁下端の状況



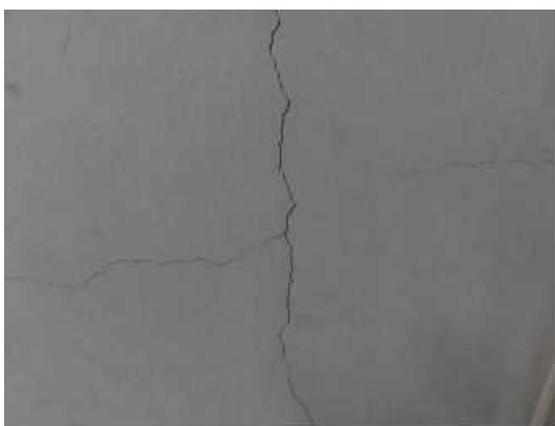
屋上の壁の状況



屋上の配管の状況



屋上の機器の状況



内壁の状況



内壁の状況

第4章 対策の内容等

(1) 対策の考え方

当該施設は、築38年経過しており、令和元年度の定期点検によると建物内部壁のひび割れや冷却塔設備の発錆や損傷など施設の老朽が見られる状況です。

計画期間内においては、軽微な修繕に加え、令和4年度に大研修室及び和室のLEDへの照明設備更新工事を実施する予定としています。

なお、今後の施設方針については、適宜、施設評価によって判断していくこととなります。

(2) 対策の平準化について

優先順位を選定の上、施設の役割・機能・利用状況を考慮しつつ、費用や事務負担軽減等を図る観点から平準化を行い、改修や修繕が必要な箇所については、計画に沿って実施していきます。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の実施時期の予定は下表のとおりとなりますが、進捗状況により計画の見直しを行います。

施設名	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
宮崎市 中央公民館							
定期点検		○			○		
維持管理修繕 (千円)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
予防保全改修 (千円)	0	12,000	0	0	0	0	0

※事業費は概算値であり、実際の事業費とは異なります。また、施設の今後の方向性によっては、事業費が変動する可能性があります。